



始業式を挙行 令和7年の目標は「自立」

1月7日(火)に3学期の始業式を挙行了しました。その中で、令和7年の目標は、「自立」としました。

「自立」するためには、次の三つの力が必要だと話しました。

- ① 社会の一員として自ら考え行動する力
- ② 自らを律し責任ある行動をとる力
- ③ 他者を信頼し、援助を求める力

昨年、この三つの力が存分に発揮されたのが、体育会でした。自分で決めた目的・目標に向かって見通しを持って行動し、課題にぶつかりながらも協働して、最適な解決方法を模索しながら解決し、すばらしい体育会を創り上げました。この「自立」を令和7年は学習面や学校生活面に広げてほしいと思います。



【3学期始業式の様子】

生徒会役員が決意表明

1月29日(金)に生徒会立会演説会を行い、投票の結果を基に会長・副会長・書記が決定しました。その後、立候補により専門委員長が決まり、生徒会役員が決定しました。

1月7日(火)の全校集会では、生徒会役員が決意表明をしました。生徒会長の河野玲粋さんは、「去年の経験を活かし、生徒会を支え、新メンバーらしい色で1年間頑張っていきます。ご支援、ご協力のほどよろしくお願ひします。」と挨拶しました。また、他の役員も立会演説会時の「挨拶があふれる学校」等の公約を実現していきたいと挨拶をしました。甘木中学校の生徒会活動がさらに活性化することを期待しています。

以下に生徒会役員メンバーを紹介します。



【全校集会での決意表明の様子】

会長	2年	〇〇 〇〇	書記	2年	〇〇 〇〇
副会長	2年	〇〇 〇〇	書記	1年	〇〇 〇〇
副会長	2年	〇〇 〇〇	書記	1年	〇〇 〇〇
学習・図書 委員長	2年	〇〇 〇〇	生活 委員長	2年	〇〇 〇〇
保健 委員長	2年	〇〇 〇〇	給食 委員長	2年	〇〇 〇〇



【生徒会役員メンバー】

1月の主な行事

- 11日(土) 有明高等専門学校推薦入試
- 15日(水) 有明高校入試
- 16日(木) 市内・地区新人駅伝大会
- 17日(金) 新入生説明会
- 22日(水)～24日(金) 修学旅行(2年)
- 24日(金) 私立高校専願入試
- 30日(木) 1・2年学力実態調査
- 30日(木)・31日(金) 公立高校特色化入試

2月の主な行事

- 3日(月)～7日(金) 教育相談
- 4日(火) 筑後地区私立前期一般入試
- 9日(日) 有明高等専門学校一般入試
- 12日(水) 学年末考査(国,理,体)
- 13日(木) 学年末考査(社,美,技家)
筑後地区私立後期一般入試
- 14日(金) 学年末考査(音,数,英)
- 14日(金)～18日(火) 合同作品展(文化会館)

中学生人権作文コンテスト 優秀賞

第43回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会・柳川協議会部門において、3年の松本紗和さんが優秀賞に選ばれ表彰されました。

人権作文コンテストでは、基本的人権の重要性をよく理解している作文について、賞が贈られるものです。

〇〇〇〇さんの「行動する勇気」の作文は、バスの中で外国の老夫婦に席を譲った際の経験について書かれたものです。いろいろな旅先で差別を受けてきた老夫婦が、幼い頃の松本紗和さんの行動によって、心が癒やされます。人権について深く考えさせられる作文です。



【表彰の様子】

「行動する勇気」 甘木中学校3年 〇〇 〇〇

私は小さい頃よく父とバスに乗ることがありました。小さい私には不思議なことばかりでした。私は、生まれつき人を観察することや見ることがとても好きでした。いつものようにバスに乗りこみバスを見回していると、黒い肌の老夫婦が乗り込んできました。小さい頃の私は、初めて見た自分とは違う肌の人に興味津々でした。しばらくしてバスが揺れ始めると、老夫婦は立つのも困難な様子でした。私は「自分より座るべき人がいるときは席を譲る」ということを教えられていたためすぐに席を立ち、老夫婦に「席をお譲りしますよ」と言いました。すると老夫婦は不思議そうにこちらを見つめ「なんで」と言われました。私は判断を間違ってしまったのかと思い、その場で大泣きしてしまいました。私にそこからの記憶はありませんが、父によると、最終的には席を譲ったそうです。

老夫婦は席に座った後こんな話をされたそうです。「私たちはいろいろな国を回って旅をしています。イギリスでは店から追い出された。他国も変わらず、あからさまなことはしないが無視をしたり陰口を言われたりする。だが日本に来て考えが変わったよ。ぎゅうぎゅうづめのバスの中、優先するのはもちろん他国の人間ではなく日本の人間だろう。でもあなたのお子さんは私たちを優先してくれた。その一言で今まであったいやな出来事がふっとんでいったよ。」そう笑いながら話す老夫婦を見て、父は私を誇らしく思ったそうです。老夫婦は笑顔で「I will never forget you」と言われたそうです。父は私にそう教えてくれましたが、私は幼かったので意味が分からず、そのまま私の記憶に眠ってしまいました。今でも私はその出来事を全く思い出せません。

私は今、昔の自分が誇らしいです。今の私はおそらく同じ場面に居合わせても何もできないと思います。心ではわかっているけど、行動する勇気がないからです。でも中三の今、私は吹奏楽部の部長をしています。リーダーという立場にある今、行動する勇気がなくて、何もできないのはダメです。中三の今が自分を見つめ直すチャンスだと思います。私はこれから同じ場面に居合わせても堂々と人を助けられる人になりたいです。卒業まであと半年、自分を見つめ直して、行動する勇気を持った人になりたいです。

リーダーミーティングを開催

12月18日（水）放課後、甘木中学校校区のリーダーミーティングを行いました。甘木中学校、手鎌小学校、倉永小学校の児童会・生徒会の代表者が ZOOM で、令和7年に3校で一緒に取り組める活動を話し合いました。リーダーミーティングでは「あいさつ運動」と「エコキャップ回収」に取り組むことが決まりました。小学校と中学校が連携して共通の取組を行い、小中の結びつきを強めることができると考えます。



【リーダーミーティングの様子】

本の魅力を伝えるビブリアバトルを開催

12月18日（水）放課後、図書室でビブリアバトルを開催しました。「ビブリアバトル」とはゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。発表参加者（バトル）たちがおすすめ本を持ち合い、1人3分の持ち時間で書評した後、バトルと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。ビブリアバトルの効果としては、ゲーム感覚で楽しみながら本に関心を持つことができること、自ら本を選ぶ力、語る力が育つこと、読んでみたいと思える本に出会える機会が増えること等が挙げられます。今回はバトル4名が発表しました。これを機にたくさん本と出会ってほしいと思います。



【ビブリアバトルの様子】

